

〔大和本草<sub>花</sub><sub>草</sub>〕ホト、ギス

<sub>サギサウ</sub>

葉は紫萼<sub>サギサウ</sub>ノ葉ニ似テ短小ナリ、スヂ多シ、又縁ノ葉ニ似タリ、ツボミ

ハ筆ノ如シ、花ハ秋開ク六出アリ、中ヨリ一葉出テ又花ノ形ヲナセリ、毎萼ニ小紫點多シ、杜鵑ノ

羽ノ文ニ似タリ、シボリ染ノ如シ、莖ノ高一二尺ニズギズ、漢名不知、

〔和漢三才圖會<sub>温草</sub>九十四末〕杜鵑草 俗稱未詳

未詳

按杜鵑草高尺餘、葉似百合葉、六七月抽莖、葉間開小黃花、或白、或白入紫苔子<sub>ナガサキ</sub>、或濃紫入白苔子、一種白色有淺紫點、名之山杜鵑、

〔剪花翁傳<sub>六月開花</sub>〕郭公花 油點艸

花二種黃色あり、葩中筋黃にして左右淡黃の隈に成也、又

赤あり、淡赤みに丁子茶の色を帶たり、形鐘艸に似たれども花仰くなり、開花六月末也、方半陰、地三分濕土回塵、肥油糟よし、小便澆げば葉焦る也、干鰯の出し汁二分雜の水を澆ぐべし、分株春彼岸にすべし、成長はやし、黃花の大きなるは一尺許也、赤花の大きなるは三尺餘にもおよぶなり、〔大和本草<sub>九草</sub>〕シャウヅハカマ 葉土ニ付テ生ズ、其形如此、略圖葉ノ中ヨリ莖ヲ生ズ、處々有之、

〔和漢三才圖會<sub>温草</sub>九十四末〕猩猩袴 俗稱未詳

按猩猩袴高六七寸、葉似蕙而短、五六月開花淺紅色、似櫻草花而稍小、

〔百品考上〕粉條兒菜 一名玉帶春苗 和名シャウジヤウバカマ 救荒本草、粉條兒菜、生田野中、其葉初生就地叢生、長則四散分垂、葉似萱草葉、而瘦細微短、葉間擴萼開淡黃花、其葉甜、有圖

野菜博錄、玉帶春苗、其與救荒本草同、無文、二字、甜上有味字而無文

山中陰地ニ自生多シ、冬ヲ經テ潤マズ、地ニ付テ叢生シ、形狀鶴<sub>シライトサウ</sub>蕙ニ似テ深綠色光アリ、又孤ノ尾ノ葉ニモ似タリ、質萱草ニ似テ至短シ、春葉中ヨリ莖ヲ抽デ高サ尺許、頂ニ數花聚附テ備テ